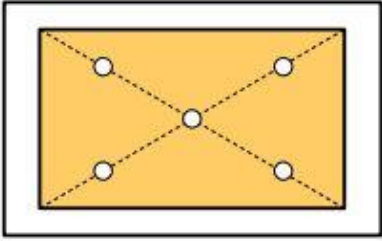
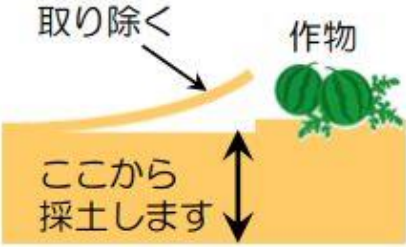
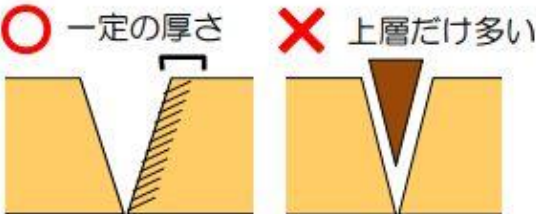
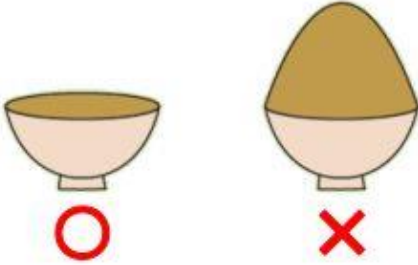
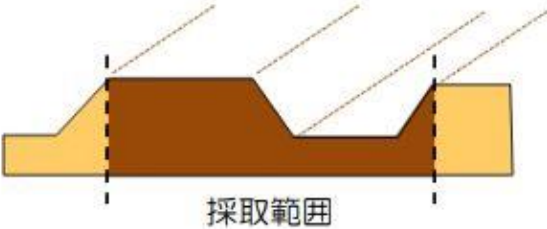



【土壌試料の採取方法】




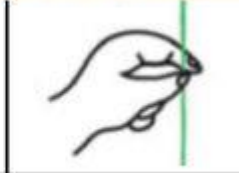
 <p><対角線採土法(5点法)></p>	<p>ほ場の四隅と中心部の5地点から採取してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ほ場一枚単位で図のように採取します。 • 面積の増加（1反以上）にともない採土地点を増やしてください。
	<p>表土1cm程度を取り除いてください。</p>
	<p>深さ方向に均等に採土してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 作土を斜めに掘ります。 • 深さは概ね10cm～15cmです。
	<p>複数地点から採った土は、よく混ぜてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 土の量は合計で茶碗一杯程度で十分です。（目安＝約100g）
	<p>※畝がある場合は、下図の範囲から採取しますが、条施肥や局所施肥を行った箇所を避ける等の注意が必要です。</p>
	<p>土を風乾し、ふるいにかけてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 試料の状態にもよりますが、土を薄く広げて室内で数日程度乾かします。 • 小石や木くずなどを取り除くことで、精度の高い測定が可能です。

乾かし、細くなった状態でお持ちください。

【土壌試料の採取方法（土質の確認）】

分析をする際、入力する必要があります。

- 土質については、下表を参照に選択してください。

区分	砂壤土	壤土	埴壤土	埴土
粘土と砂の感じ方	大部分が砂の感じで、わずかに粘土を感じる	砂と粘土が半々の感じ	大部分は粘土で一部砂を感じる	ほとんどが砂を感じないで、粘土の感じが強い
簡易的な判定法(※)	棒にはできない	鉛筆くらいの太さにできる	マッチ棒くらいの太さにできる	コヨリのように細長くなる
				

※判定にあたっては、土を少量の水でこねて土質を判定します。